

広島市の漁業

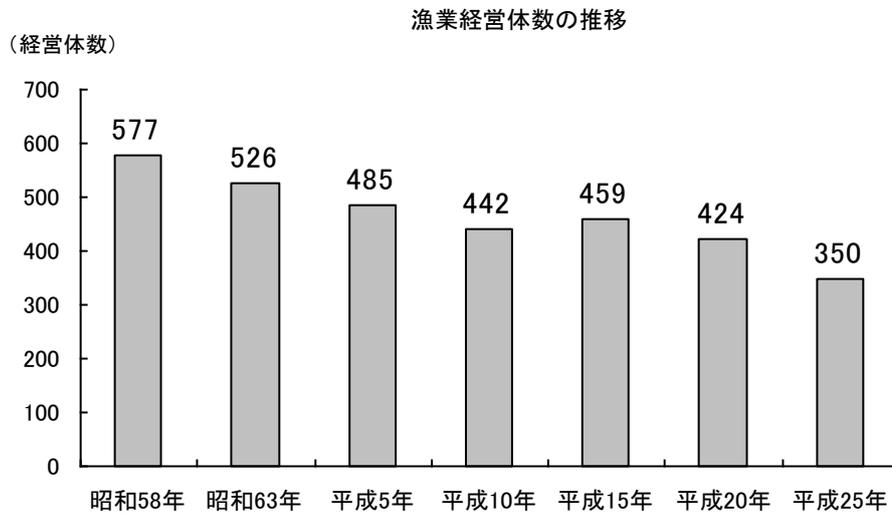
(2013年漁業センサス結果の概要)

平成25年(2013年)11月1日現在で実施した漁業センサスについて、広島市における調査結果の概要をまとめました。

この資料の数値は、現在の市域によるものです。

1 漁業経営体

海面漁業経営体数は、350経営体で前回調査(平成20年)と比べると、74経営体(17.5%)減少しました。



2 漁業地区別の状況

漁業地区別にみると、広島南が187経営体で最も多く、次いで広島西の77経営体となっており、この2漁業地区で全体の約75%を占めています。

表1 漁業地区別経営体数

単位：経営体，%

漁業地区	平成20年	平成25年	増減率
総数	424	350	△17.5
矢野	6	2	△66.7
船越	12	9	△25.0
広島南	208	187	△10.1
広島中	109	69	△36.7
広島西	77	77	0.0
五日市	12	6	△50.0

注 「漁業地区」とは、市区町村の区域ごとに、農林水産省が設定したものです。

3 経営体階層別の状況

経営体階層別にみると、海面漁業が77.4%、海面養殖が22.6%の構成割合となっています。

海面漁業では、「1～3トン未満」の動力船使用経営体が130経営体（全経営体数に占める割合37.1%）で最も多くなっています。

海面養殖では、「かき養殖」が59経営体（同16.9%）で最も多くなっています。

表2 経営体階層別経営体数

単位：経営体，%

経営体階層		実数		構成比		増減率
		平成20年	平成25年	平成20年	平成25年	
総	数	424	350	100.0	100.0	△17.5
海	面	339	271	80.0	77.4	△20.1
	漁船非使用	8	—	1.9	—	—
	漁					
	無動力船	—	—	—	—	—
	船外機付漁船	38	41	9.0	11.7	7.9
	船					
	動力					
	1トン未満	44	36	10.4	10.3	△18.2
	1～3トン	169	130	39.9	37.1	△23.1
	3～5トン	44	43	10.4	12.3	△2.3
	5～10トン	33	21	7.8	6.0	△36.4
	使					
	10～20トン	3	—	0.7	—	—
	20～30トン	—	—	—	—	—
	30～50トン	—	—	—	—	—
	用					
	50トン以上	—	—	—	—	—
	小型定置網	—	—	—	—	—
	地びき網	—	—	—	—	—
海	面	85	79	20.0	22.6	△7.1
	養殖					
	ぶり養殖	—	—	—	—	—
	まだい養殖	—	—	—	—	—
	ひらめ養殖	—	—	—	—	—
	その他の魚類養殖	—	—	—	—	—
	かき養殖	70	59	16.5	16.9	△15.7
	くるまえび養殖	—	—	—	—	—
	わかめ類養殖	12	16	2.8	4.6	33.3
	のり養殖	1	3	0.2	0.9	200.0
	真珠養殖	2	1	0.5	0.3	△50
	その他の養殖	—	—	—	—	—

注1 漁業経営体階層区分は、「過去1年間に主として営んだ漁業種類」又は「過去1年間に使用した漁船のトン数」によります。

注2 「小型定置網」以下については、販売金額1位の漁業種類によって区分しています。

4 その他

○ 単位未満は四捨五入したため、総数とその内訳の合計は必ずしも一致しません。

○ 問い合わせ先：広島市企画総務局企画調整部企画調整課統計係

(広島市中区国泰寺町一丁目6番34号, TEL082-504-2012, FAX082-504-2029)